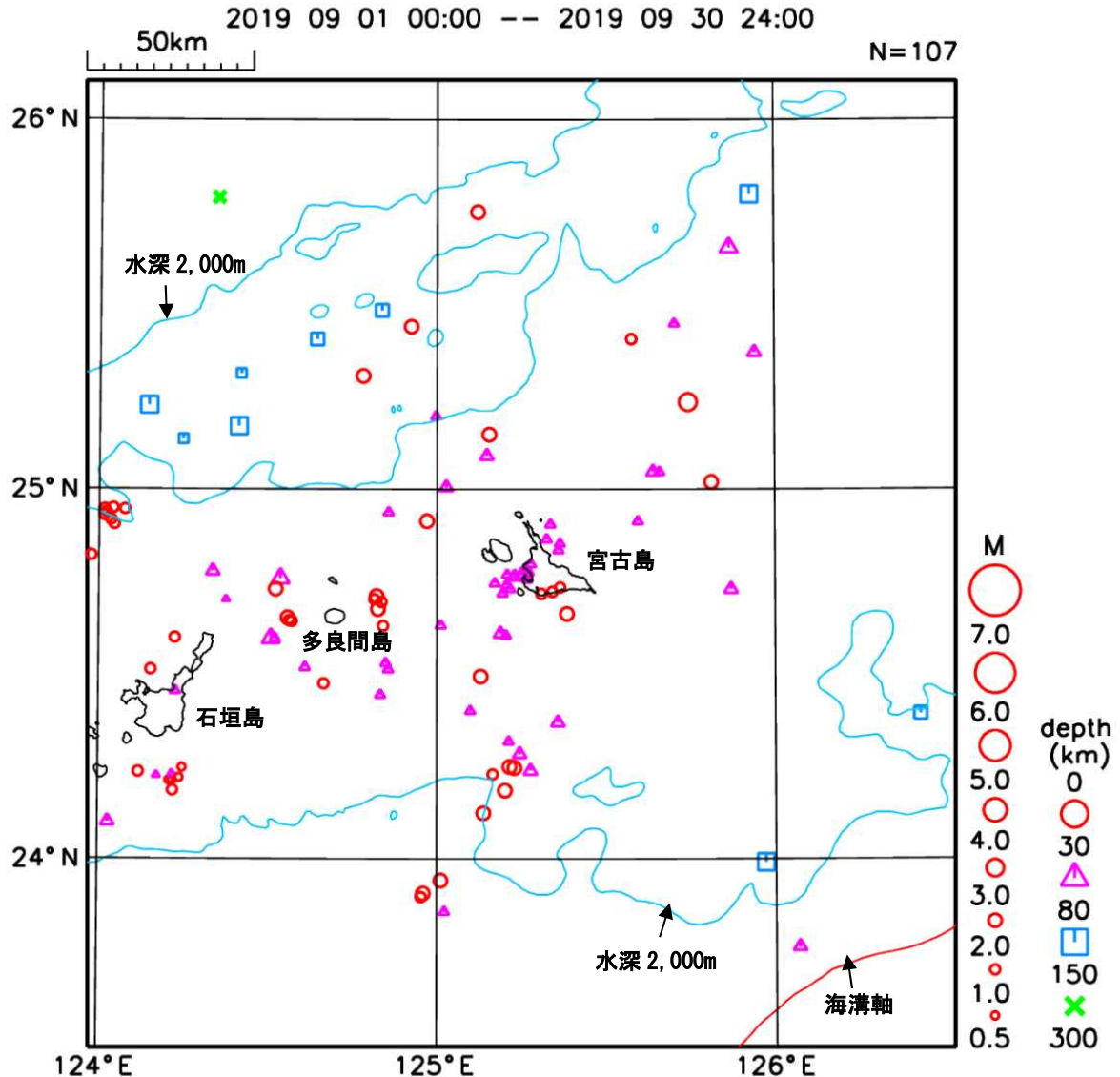


宮古島地方の地震活動図

令和元年（2019年）9月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です。）
宮古島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は107回（8月168回）で、震度1以上を観測した地震はありませんでした（8月4回）。

※ 資料中のデータについて

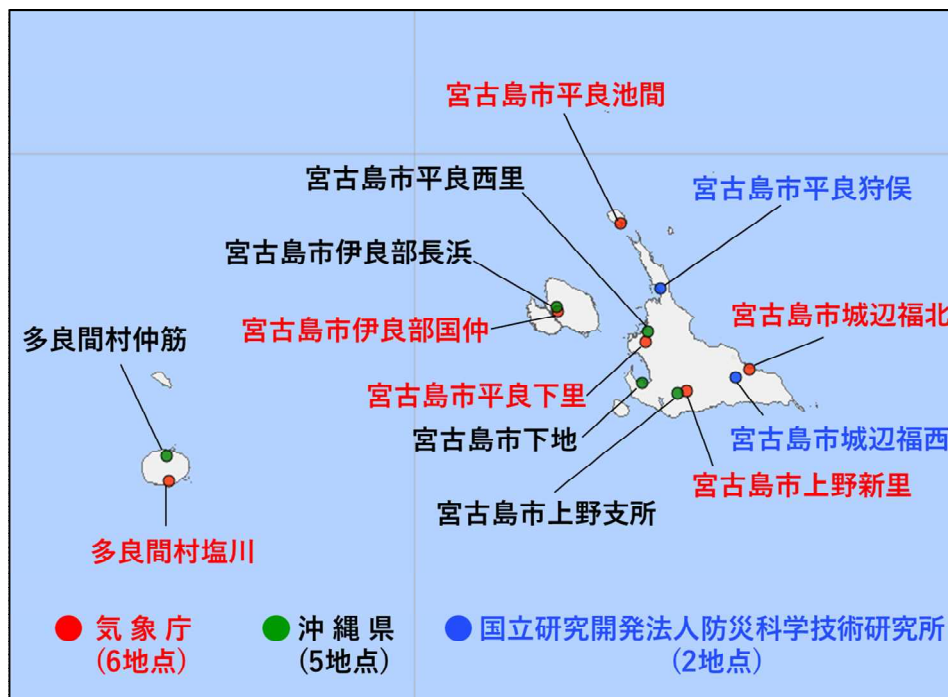
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方の震度観測地点



過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <https://www.jma-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054

(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)



地震から身を守るために 緊急地震速報を活用しましょう！

緊急地震速報とは、地震の発生後に、強い揺れの到達時刻と震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまではわずかな時間しかありません。場合によっては強い揺れの到達に間に合わないこともあります。身を守るための行動が素早くできるよう、日頃から訓練しておきましょう。

緊急地震速報を見聞きしたら、どう行動する？

緊急地震速報を見聞きした場合は、「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。周囲の状況に応じて、いざという時の行動を考えておきましょう。

●家庭では



頭を守り、丈夫な机の下など安全な場所に避難する

●屋外では



ブロック塀等の倒壊や落下物に注意し、危険な場所から離れる

●人が大勢いる施設では



低い姿勢をとり体を安定させ、あわてず係員の指示に従う

●運転中は



ハザードランプを点灯して周囲の車に注意を促し、緩やかに減速する

●バスやモノレールに乗車中は



つり革や手すりにつかまり強い揺れや急ブレーキに備える

●エレベーターでは



最寄の階でエレベーターを停止させ、すぐに降りる

気象庁では11月5日（火）に緊急地震速報の訓練を実施します

気象庁では、11月5日（火）10時00分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します

URL：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/2019/02/kunren.html>